



決算説明資料

2020年3月期

第1四半期

1. 第1四半期決算（2019年4月～6月）

2. マーケティング事業

3. ギフトEC事業

→ 資料の前提：トレンドーズグループの事業領域

- トレンドーズグループでは、「インベストメント事業」「マーケティング事業」「ギフトEC事業」の3つの事業を展開しています。



トレンドーズ株式会社

インベストメント事業

成長事業・企業に向けた投資事業



株式会社MimiTV

マーケティング事業

クライアント企業のプロモーション・PR支援、メディア運営



株式会社BLT

ギフトEC事業

ギフト特化型ECサービス
「Anny」の運営

第1四半期決算 (2019年4月～6月)

第1四半期においては計画通り進捗	
連結業績	売上高： 914 百万円 (+4.5%)
	営業利益： 10 百万円 (▲96.7%)

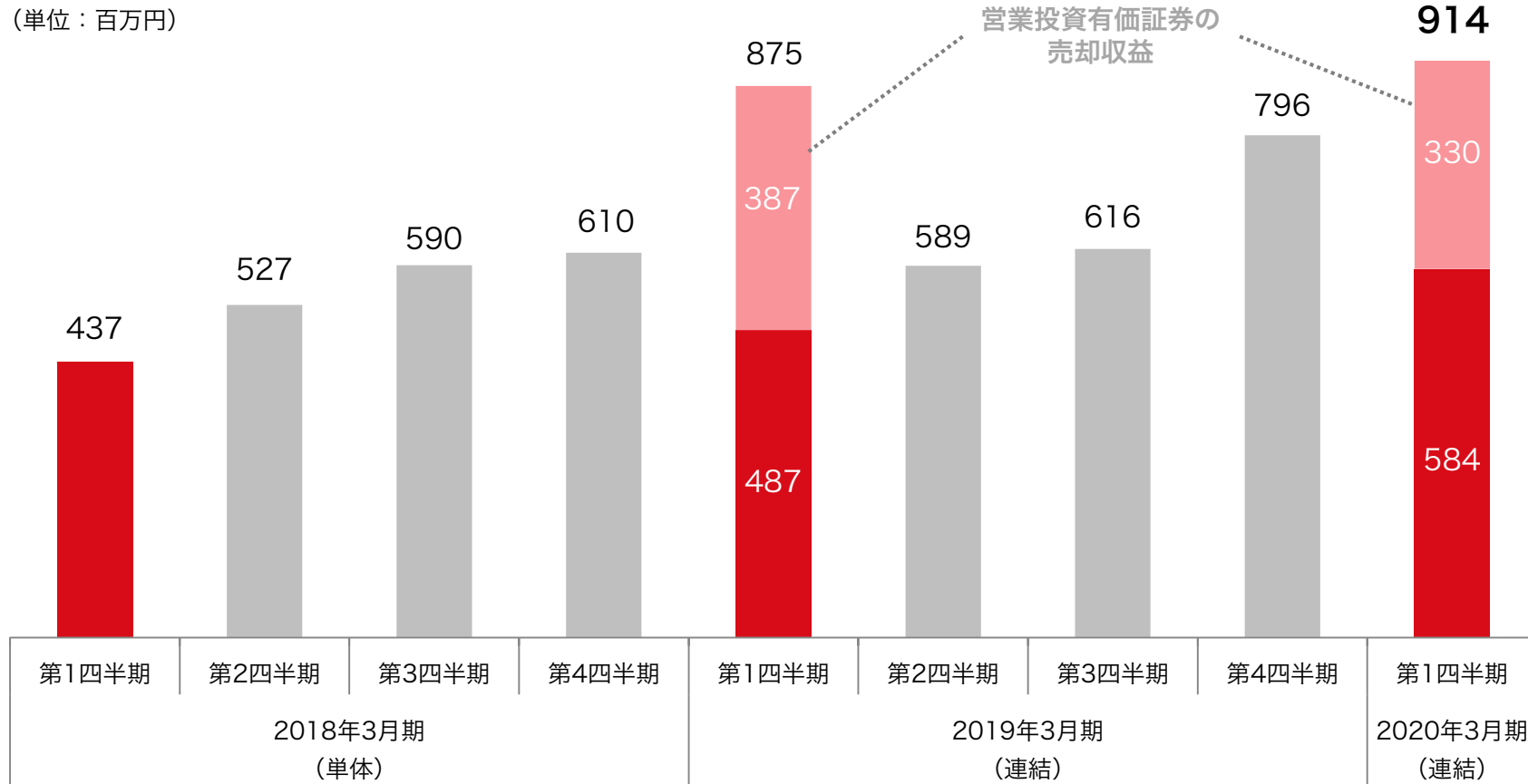
マーケティング 事業	インフルエンサーマーケティング・運用型広告・MimiTVが成長し増収増益	
	売上高：	539 百万円 (+15.3%)
	営業利益：	88 百万円 (+21.2%)

ギフトEC 事業	決済数増加により増収、事業拡大に向けた先行投資は継続中	
	売上高：	37 百万円 (+83.3%)
	営業利益：	▲23 百万円 (▲7百万円)

インベストメント 事業	営業投資有価証券の売却益が前年同期を下回ったことにより減収減益	
	売上高：	338 百万円 (▲12.6%)
	営業利益：	34 百万円 (▲91.0%)

→ 四半期推移：連結売上高

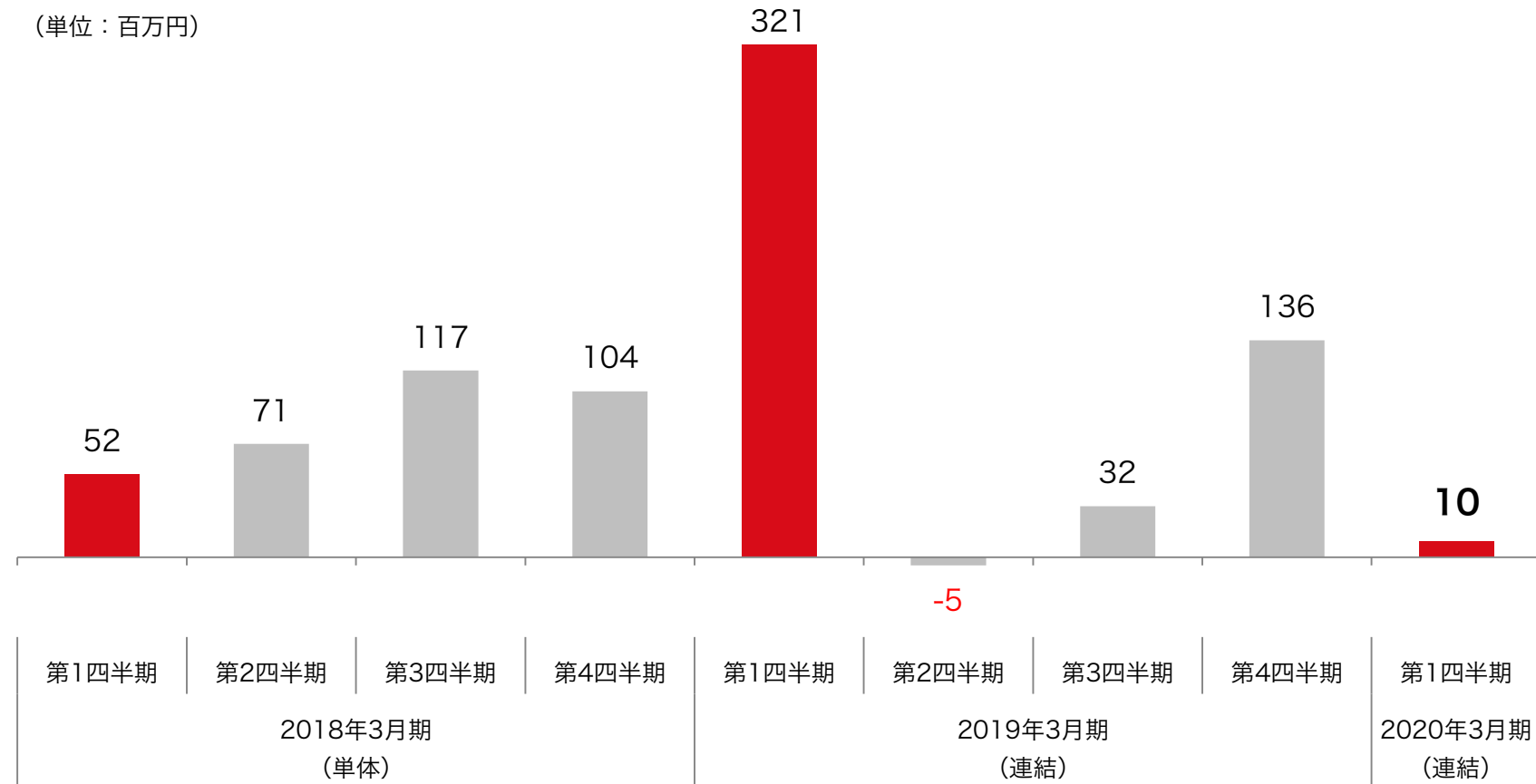
- 第1四半期の売上高は**914百万円**（前年同期比**+4.5%**）と過去最高を記録し、営業投資有価証券の売却収益を除いた売上高も**584百万円**（前年同期比**+19.9%**）と増収
- マーケティング事業においてインフルエンサーマーケティング、運用型広告、MimiTVの売上高が拡大、ギフトEC事業も継続的に事業成長



※ 2018年3月期第4四半期までは単体決算、2019年3月期第1四半期からは連結決算の数値となっております

→ 四半期推移：連結営業利益

- 第1四半期の営業利益は**10百万円**（前年同期比▲96.7%）
- 減益の要因は営業投資有価証券の売却利益差額（当四半期30百万円－前年同期387百万円＝▲357百万円）
- 当期は先行投資期と位置づけており、MimiTV、ギフトEC事業等への投資は継続



※ 2018年3月期第4四半期までは単体決算、2019年3月期第1四半期からは連結決算の数値となっております

→ 連結業績概要

- 売上高 : マーケティング事業・ギフトEC事業の成長により増収
- 営業利益 : 営業投資有価証券の売却利益の減少 (▲357百万円) により減益
- 売上高・各段階利益 : 第1四半期においては計画通り進捗

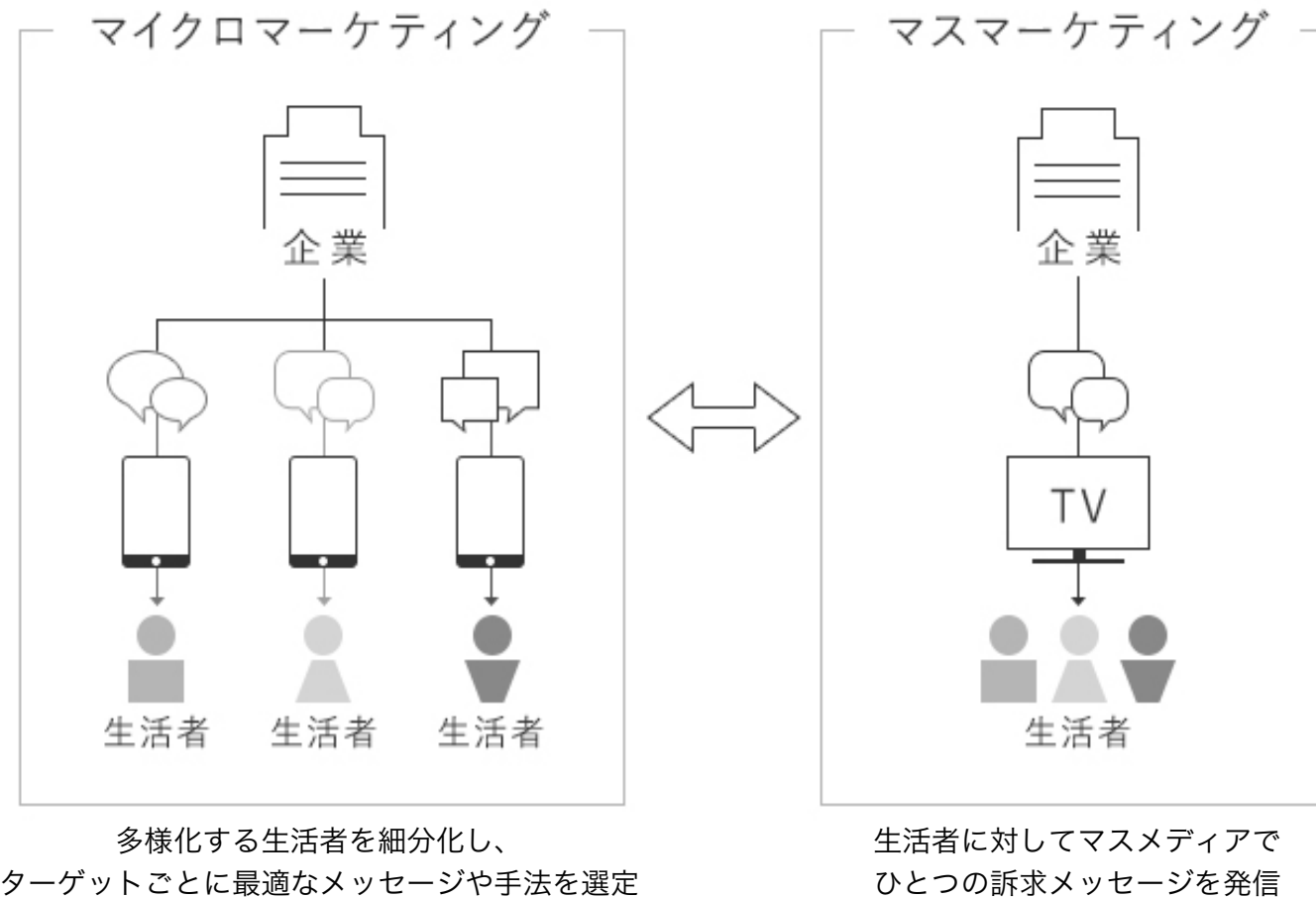
(単位：百万円)	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	875	914	+4.5%
－有価証券売却を除く売上高	487	584	+19.9%
－有価証券売却	387	330	▲14.8%
営業利益	321	10	▲96.7%
経常利益	325	9	▲97.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	210	1	▲99.3%

※営業投資有価証券売却による営業利益への影響額 = 2019年3月期第1四半期：387百万円 2020年3月期第1四半期：30百万円

マーケティング事業

→ 次世代型マイクロマーケティング

- トレンダーズグループのマーケティング事業では、生活者の多様化に対応し効果的かつ効率的なマーケティング施策を実現する「次世代型マイクロマーケティング」を提唱しています。



→ マーケティング事業の概要

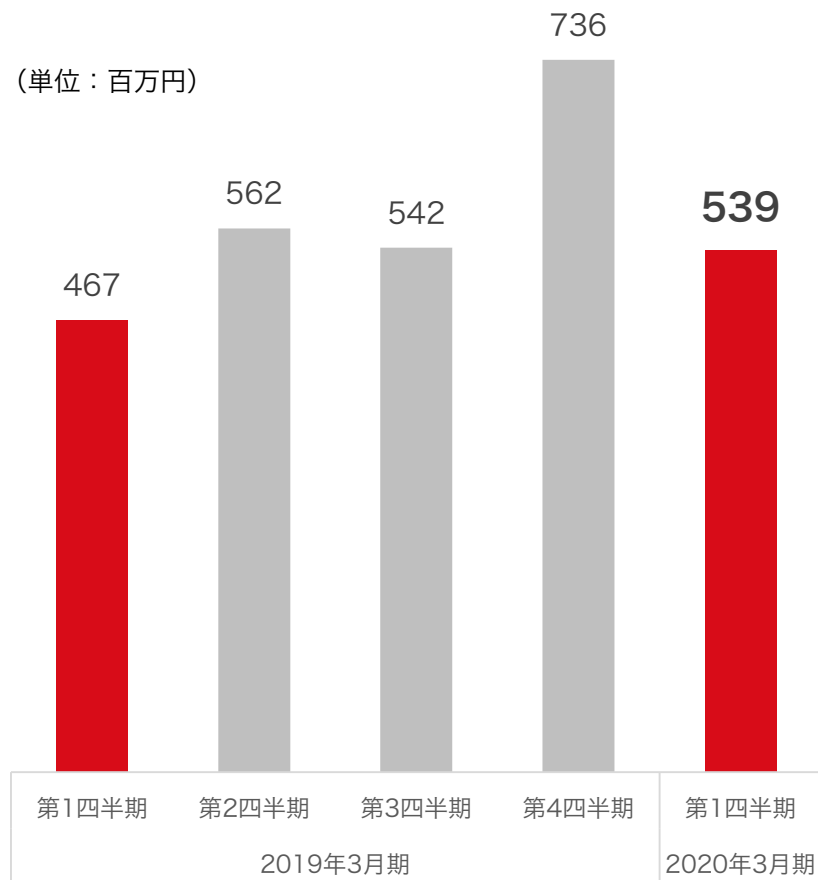
- 生活者インサイト・トレンド分析に基づくマーケティングノウハウに独自のソリューションを掛け合わせ、企業のプロモーション・PR活動の支援を行っています。



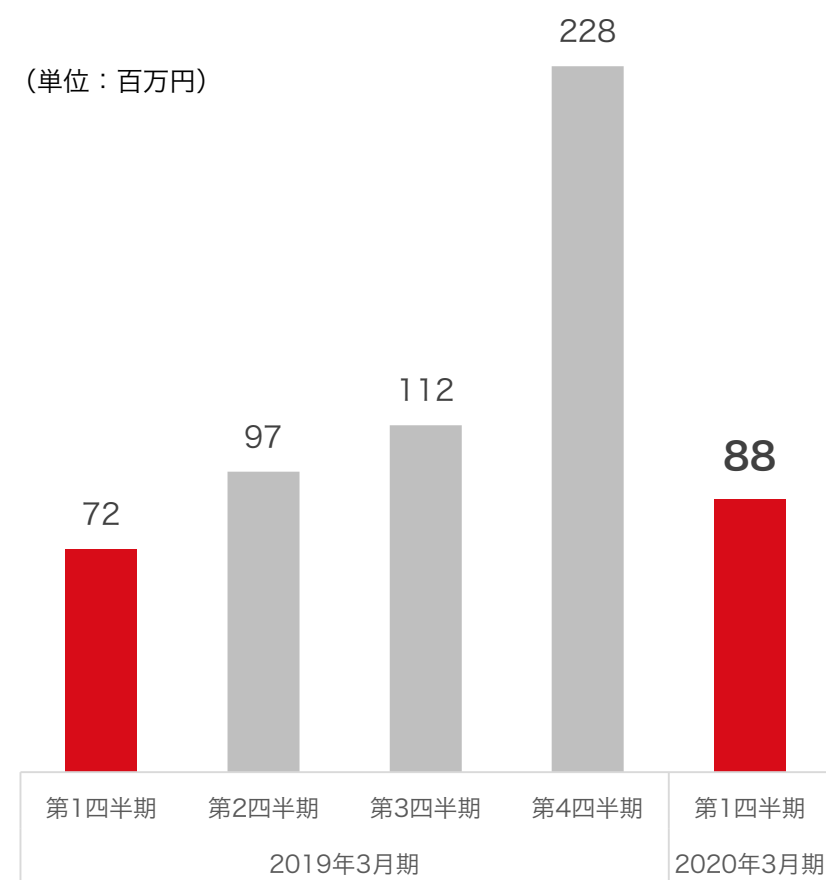
→ マーケティング事業の四半期業績推移

- インフルエンサーマーケティング、運用型広告、MimiTVが順調に成長した結果、売上高は前年同期比15.3%増の539百万円、営業利益は前年同期比21.2%増の88百万円となりました。

売上高



営業利益



→ インフルエンサーマーケティングの取り組み

- 10～20代のSNS世代に向けたD2Cブランド「She Share Story」の販売を2019年7月に開始。今後もインフルエンサーマーケティングのノウハウを活かし、美容・ファッション雑貨を中心に事業を展開してまいります。



- ・「She Share Story」はInstagramでブランドコミュニケーションを行い、商品の企画開発から製造販売までをトレンドーズが手掛けるD2Cブランド
- ・オリジナルのタトゥーシール「Rakugaki」を7月末よりECにて販売開始
- ・ディズニーキャラクターをモチーフとしたシリーズ「Shareney (シェアニー) ※」は8月下旬販売開始予定

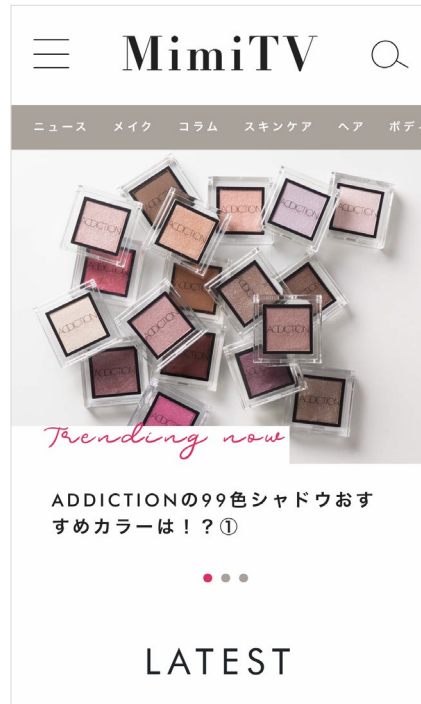
※本商品は、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社と株式会社電通との契約に基づき、トレンドーズ株式会社が製造・販売するものです。



→ MimiTVの取り組み

- MimiTVでは、ユーザビリティの向上とブランディング強化を図るため、6月にテキスト情報の新サイトを公開。また、メイクBGMのオリジナルコンピレーションアルバムの配信を7月より開始いたしました。

テキスト情報サイト



- ・動画コンテンツをはじめ、各SNSで発信している情報を集約
- ・新商品情報や新作発表会のレポート、メイクやヘアアレンジのハウツー、「MimiTVベストコスメ」のアイテム紹介などを行う

オリジナルコンピレーションアルバム

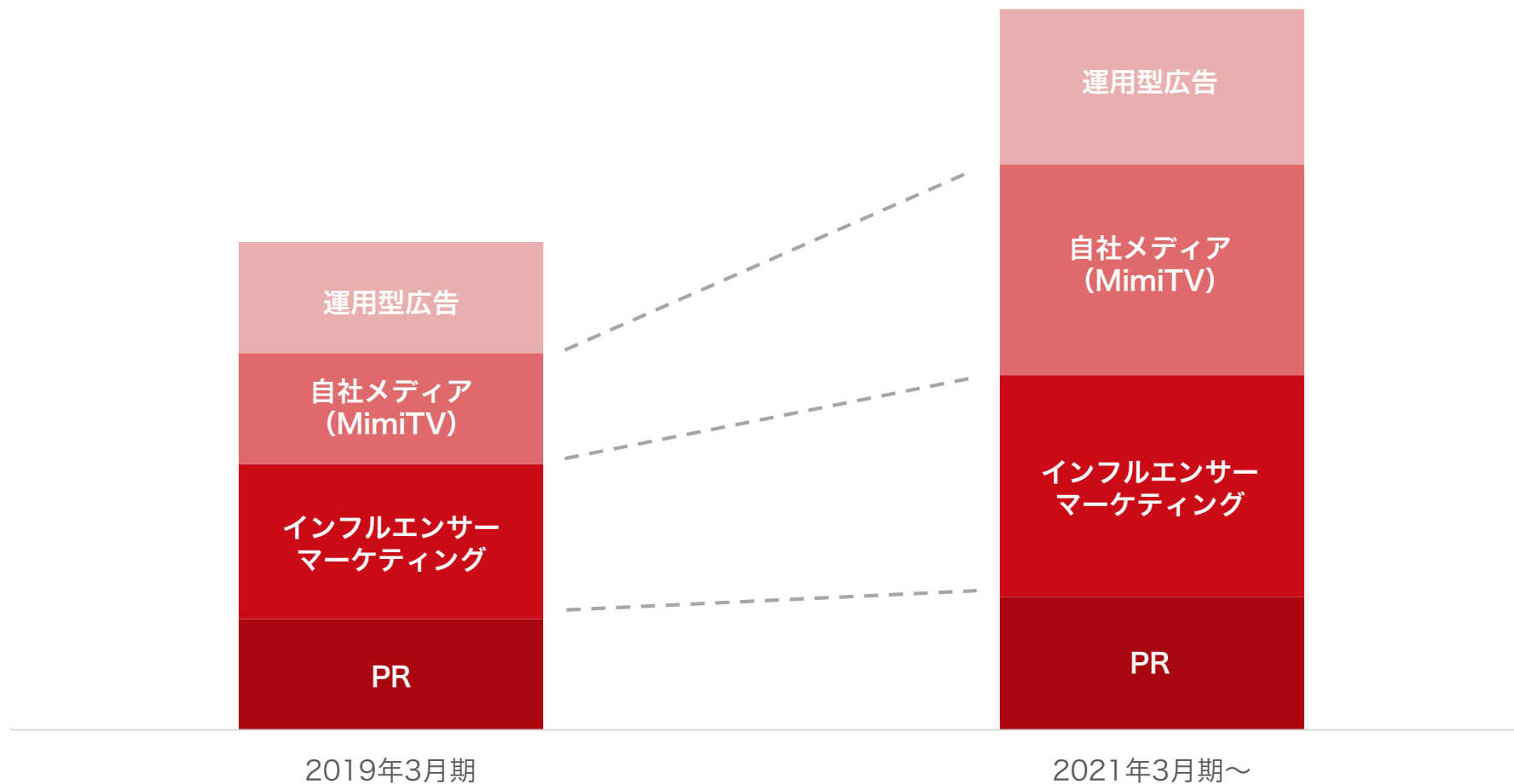


- ・スターミュージック・エンタテインメントが運営するBGM配信サービス「ALL BGM CHANNEL」と連携
- ・Apple Music、Spotify、LINE MUSICをはじめ、全世界の音楽配信サイトでも配信

→ マーケティング事業の成長戦略

- マーケティング事業においては、インフルエンサーマーケティング・運用型広告・MimiTVを成長ドライバーとすることで、さらなる収益化と事業拡大を図ります。

｜ マーケティング事業の売上高構成比



ギフトEC事業

→ Annyとは (メディア概要)

- 「Anny (アニー)」は、誕生日や結婚・出産のお祝いのシーンなどに相手に合ったギフトを見つけて贈ることができるギフトECサービスです。

Anny

POINT 01
厳選された
おしゃれなギフト

BEST SELECTION

POINT 02
目的に合わせた
ギフトの提案

GIFT STORY

POINT 03
たった30秒!
"すぐに"ギフトが贈れる

GIFT LETTER

SCENE

for Birthday
誕生日

--	--	--	--

for Birth
出産祝い

--	--	--	--

for Wedding
結婚祝い

--	--	--	--

CATEGORY

Gourmet and Sweets
グルメ・スイーツ

--	--	--	--

Interior and Living
インテリア・リビング

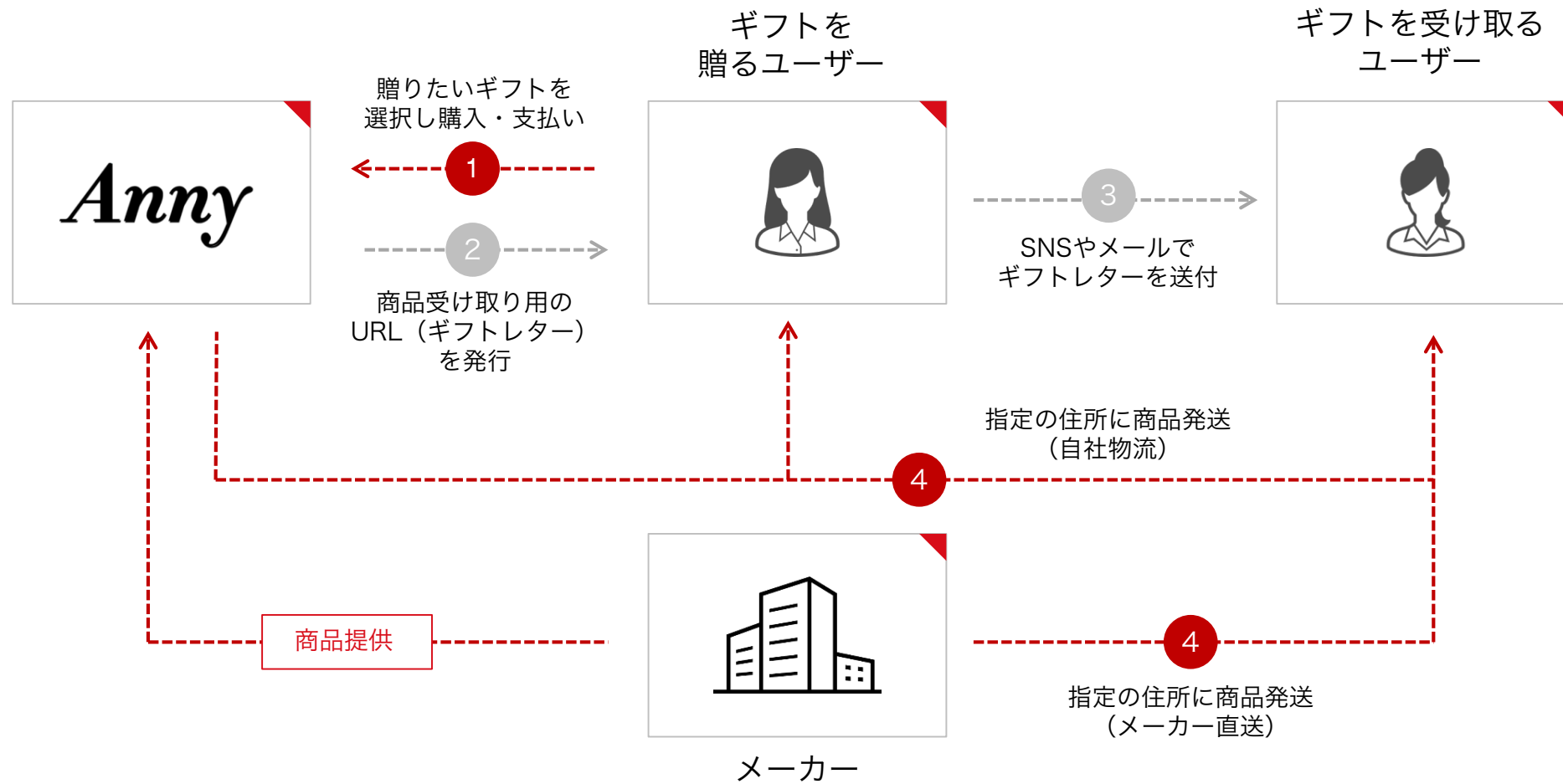
--	--	--	--

Beauty
ビューティー

--	--	--	--

→ Annyのビジネスモデル

- AnnyではギフトECとしての機能に加え、ソーシャルギフトとしてSNSやメールで専用URLを送付することでギフトを贈ることも可能です。

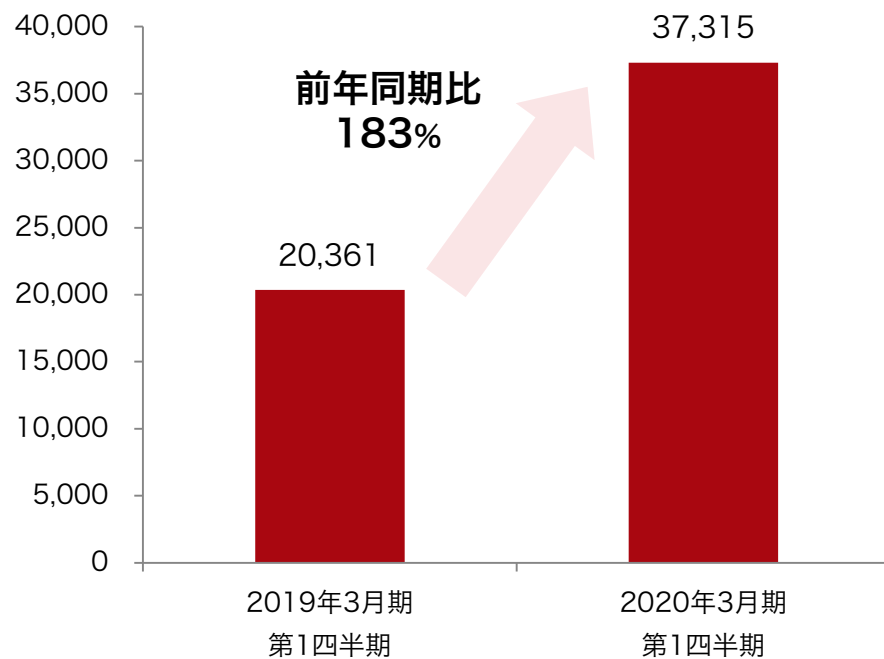


→ 売上高の推移

- ユーザー数・決済数が順調に推移した結果、売上高は前年同期比183%へと伸ばいたしました。
また、注力しているMDにおいては取扱いアイテム数は1,800点を突破し、有名ブランドの掲載数も増加しております。

売上高推移

(単位：千円)



※ギフトEC事業における売上高は、買取型の取引形態においては商品の販売価格を計上し、受託型においては販売手数料を計上しております。

新規掲載ブランド

MAIAM (マイアム)



Cutipol (クチポール)



SWATi (スワティ)

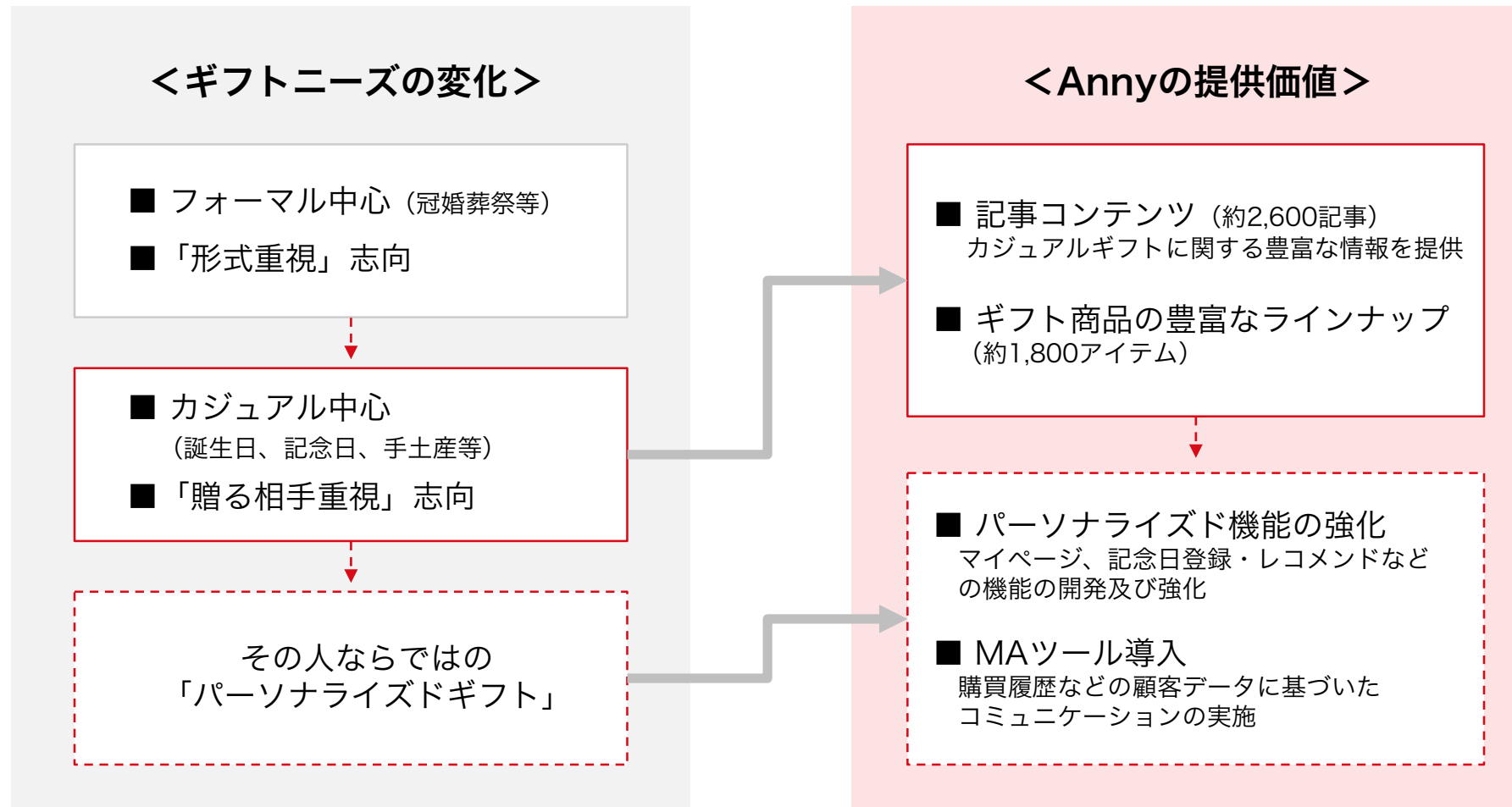


Sghr (スガハラ)



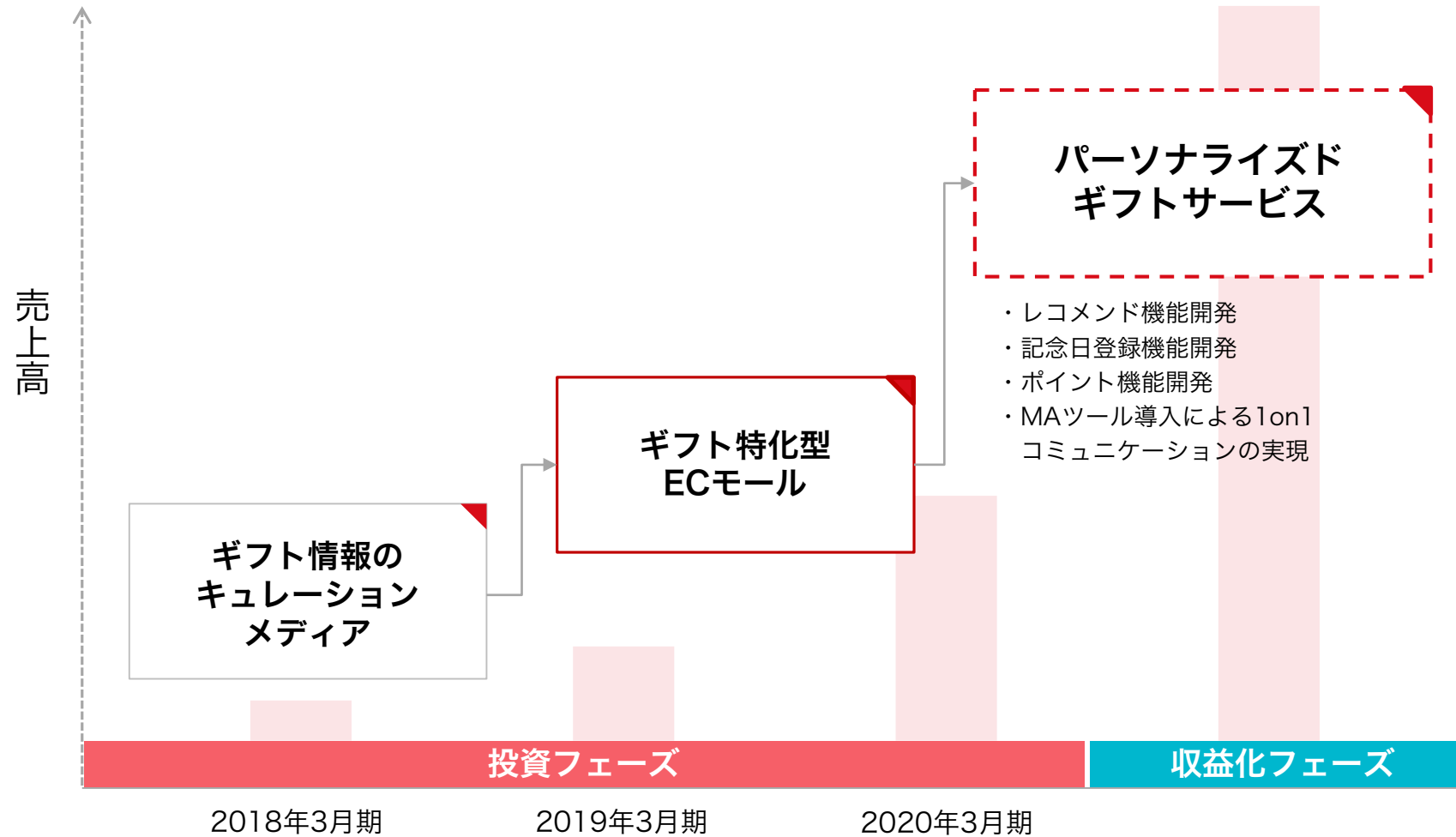
→ ギフトニーズの変化とAnnyの提供価値

- 儀礼的なフォーマルギフトからカジュアルギフトへのシフトが進む中、「相手に喜ばれるギフトを吟味して選ぶ」というギフトの購買行動の変化に、Annyはいち早く対応し価値提供をしております。



→ 今後の事業戦略

- 引き続き投資フェーズと位置づけ、さらなる機能開発とAIの導入により、一人ひとりに最適なギフトを提案するパーソナライズドギフトサービスへと発展させてまいります。



本資料は、業績に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的に作成したものではありません。

また、本資料に掲載された情報や見通しは、資料作成時点において入手可能な情報を基にしております。

本資料の内容には当社の判断が含まれており、情報の正確性を保証するものではなく、今後様々な要因により実際の業績や結果と異なることがあります。

